



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年8月10日

上場会社名 株式会社 大運 上場取引所 大  
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 健一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長 (氏名) 吉野 弘一 TEL (06) 6532-4101  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,703	28.4	45		43		41	
22年3月期第1四半期	1,326	36.8	119		78		55	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	0 66	
22年3月期第1四半期	0 95	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	4,564	1,679	36.8	27 01
22年3月期	4,563	1,675	36.7	26 94

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 1,679百万円 22年3月期 1,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		0 00		0 00	0 00
23年3月期					
23年3月期(予想)		0 00		0 00	0 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	3,317 18.5	69	69	64	1 03
通期	6,612 10.1	100	100	90	1 45

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3 「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	62,280,394株	22年3月期	62,280,394株
23年3月期1Q	93,149株	22年3月期	92,366株
23年3月期1Q	62,187,441株	22年3月期1Q	58,558,517株

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善をはじめ一部で景気持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、欧州の財政不安や内需の伸び悩み等を背景に、企業の設備投資や雇用情勢は引き続き厳しく、先行き不透明な状況が続いております。

当社の当第1四半期の営業収入は前年同期比+376,428千円(+28.4%)の1,703,056千円となりました。

当社は、前事業年度から採算性の低い賃借施設の返還、人件費の削減等による収益改善を推進し、営業収入の回復とともに、前事業年度第3四半期以降は黒字体質に転換し、当第1四半期の営業利益は45,538千円、経常利益は43,407千円、四半期純利益は41,244千円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末比65,745千円(2.9%)増加し、2,355,962千円となりました。これは前払費用の増加31,203千円、現金及び預金の増加22,635千円等によるものです。

#### (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末比63,930千円(2.8%)減少し、2,193,720千円となりました。これは株価下落等に起因する投資有価証券の減少33,780千円等によるものです。

#### (流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末比46,595千円(2.4%)減少し、1,871,698千円となりました。これは賞与引当金の減少31,326千円、1年以内返済予定の長期借入金の減少23,160千円等によるものです。

#### (固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末比42,421千円(4.4%)増加し、1,012,363千円となりました。これは長期借入金の増加30,552千円、退職給付引当金の増加16,113千円等によるものです。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末比4,746千円(0.3%)増加し、1,679,964千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加41,244千円、その他有価証券評価差額金の減少36,468千円等によるものです。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、業績は概ね計画通りに推移しており、平成22年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 一般債権の貸倒見積残高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

#### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

#### 法人税等の算定方法

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第一四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ179千円、税引前四半期純利益は2,331千円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始により差入保証金より控除された金額は2,331千円であります。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、前事業年度まで3期連続営業損失を計上しておりました。四半期会計期間での推移では、前事業年度第3四半期会計期間以降は営業利益に転換しており、当第1四半期においても営業利益を計上しております。当事業年度においても引き続き営業推進、経費削減に注力し、営業利益を計上できる見通しであり、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消され、存在しておりません。

### 3. 四半期財務諸表

#### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,098,213	1,075,577
受取手形	3,414	2,741
営業未収入金	864,727	875,320
立替金	289,598	279,184
その他	115,459	72,367
貸倒引当金	15,452	14,975
<b>流動資産合計</b>	<b>2,355,962</b>	<b>2,290,217</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	252,386	259,584
構築物(純額)	3,343	3,434
機械及び装置(純額)	43,688	46,660
車両運搬具(純額)	102,094	106,161
工具、器具及び備品(純額)	17,549	13,638
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	37,197	39,206
<b>有形固定資産合計</b>	<b>1,032,442</b>	<b>1,044,868</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	467,844	474,827
その他	31,540	33,565
<b>無形固定資産合計</b>	<b>499,384</b>	<b>508,393</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	511,957	545,738
差入保証金	85,882	88,693
その他	386,881	391,321
貸倒引当金	322,828	321,364
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>661,892</b>	<b>704,388</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,193,720</b>	<b>2,257,650</b>
<b>繰延資産</b>		
株式交付費	14,344	15,585
<b>繰延資産合計</b>	<b>14,344</b>	<b>15,585</b>
<b>資産合計</b>	<b>4,564,026</b>	<b>4,563,453</b>

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形	69,039	73,471
営業未払金	575,676	593,737
短期借入金	483,000	489,000
1年内返済予定の長期借入金	422,621	445,781
未払金	194,327	170,167
未払法人税等	14,677	30,471
その他	112,356	115,664
流動負債合計	1,871,698	1,918,293
<b>固定負債</b>		
長期借入金	737,924	707,371
退職給付引当金	154,300	138,187
その他	120,139	124,383
固定負債合計	1,012,363	969,942
負債合計	2,884,062	2,888,235
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,800	433,800
資本剰余金合計	748,104	748,104
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,267,764	1,309,009
利益剰余金合計	1,261,908	1,303,153
自己株式	10,589	10,560
株主資本合計	1,870,005	1,828,789
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	190,040	153,571
評価・換算差額等合計	190,040	153,571
純資産合計	1,679,964	1,675,217
負債純資産合計	4,564,026	4,563,453

(2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業収入	1,326,628	1,703,056
営業原価	1,337,825	1,562,162
売上総利益又は売上総損失( )	11,196	140,894
販売費及び一般管理費	108,315	95,355
営業利益又は営業損失( )	119,511	45,538
営業外収益		
受取利息	202	151
受取配当金	8,787	1,817
受取補償金	38,628	-
その他	6,259	8,619
営業外収益合計	53,877	10,588
営業外費用		
支払利息	11,137	10,340
貸倒引当金繰入額	-	2,263
その他	1,270	115
営業外費用合計	12,407	12,719
経常利益又は経常損失( )	78,041	43,407
特別利益		
固定資産売却益	468	-
投資有価証券売却益	8,115	-
賞与引当金戻入額	19,138	8,678
特別利益合計	27,722	8,678
特別損失		
貸倒引当金繰入額	3,131	-
過年度事業所税	-	6,953
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	2,152
その他	571	-
特別損失合計	3,702	9,105
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失( )	54,021	42,980
法人税、住民税及び事業税	1,421	1,735
法人税等合計	1,421	1,735
四半期純利益又は四半期純損失( )	55,442	41,244

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。